

令和6(2024)年度決算報告

1. 資金収支計算書

令和6年度収入は9,091百万円、支出は9,651百万円となりました。当年度資金収支差額は資金収入の減収及び設備関係支出等の増加により△560百万円となりました。

(収入の部)		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
学生から納入された学費などです。	6,202	6,199	3	
手数料収入	58	40	18	
寄付金収入	25	47	△ 22	
補助金収入	923	1,032	△ 109	
資産売却収入	404	405	△ 1	
付随事業・収益事業収	705	683	22	
受取利息・配当金収入	102	107	△ 5	
雑収入	340	374	△ 34	
借入金等収入	0	0	0	
前受金収入	1,046	983	63	
その他の収入	545	697	△ 152	
資金収入調整勘定	△ 1,126	△ 1,476	350	
当年度資金収入合計	9,224	9,091	133	
前年度繰越支払資金	6,839	6,839		
収入の部合計	16,063	15,930	133	
(支出の部)		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
人件費支出	4,534	4,464	70	
教育研究経費支出	3,015	2,918	97	
管理経費支出	794	845	△ 51	
借入金等利息支出	1	1	0	
借入金等返済支出	78	78	0	
施設関係支出	339	267	72	
設備関係支出	179	239	△ 60	
資産運用支出	0	480	△ 480	
その他の支出	1,139	920	219	
資金支出調整勘定	△ 492	△ 561	69	
当年度資金支出合計	9,587	9,651	△ 64	
翌年度繰越支払資金	6,476	6,280	196	
支出の部合計	16,063	15,931	132	
当年度資金収支差額	△ 363	△ 560	197	

2. 事業活動収支計算書

事業活動収入は、予算を153百万円上回る8,527百万円となりました。支出面は経費削減等により予算を190百万円下回る9,313百万円となりました。この結果、基本金組入前当年度収支差額は△785百万円の支出超過となりました。

(収入の部)		(単位:百万円)		
科 目	予 算	決 算	差 異	
事業活動収入の部	6,202	6,199	3	
手数料	57	40	17	
寄付金	31	51	△ 20	
経常費等補助金	923	993	△ 70	
付随事業収入	700	678	22	
雑収入	340	374	△ 34	
教育活動収入計	8,253	8,335	△ 82	
事業活動支出の部	4,473	4,399	74	
教育研究経費	4,072	3,979	93	
(内 減価償却額)	(1,056)	(1,057)	(△1)	
管理経費	853	904	△ 51	
(内 減価償却額)	(58)	(58)	(0)	
徴収不能額等	0	3	△ 3	
教育活動支出計	9,397	9,284	113	
教育活動収支差額	△ 1,143	△ 948	△ 195	
教育活動外収入の部	102	106	△ 4	
受取利息・配当金	5	5	0	
その他の教育活動収入	107	111	△ 4	
教育活動外収入計	107	111	△ 4	
教育活動外支出の部	1	1	0	
借入金等利息	0	0	0	
その他の教育活動外支出	1	1	0	
教育活動外支出計	1	1	0	
教育活動外収支差額	106	110	△ 4	
経常収支差額	△ 1,037	△ 837	△ 200	
事業活動収入の部	0	5	△ 5	
資産売却差額	12	75	△ 63	
その他の特別収入	12	80	△ 68	
特別収入計	4	27	△ 23	
資産処分差額	0	0	0	
その他の特別支出	4	27	△ 23	
特別支出計	8	52	△ 44	
特別収支差額	△ 1,129	△ 785	△ 344	
基本金組入前当年度収支差額	△ 445	△ 418	△ 27	
当年度収支差額	△ 1,574	△ 1,203	△ 371	
前年度繰越収支差額	△ 15,795	△ 15,795	0	
基本金取崩額	0	0	0	
翌年度繰越収支差額	△ 17,370	△ 16,999	△ 371	
(参考)				
事業活動収入計	8,374	8,527	△ 153	
事業活動支出計	9,503	9,313	190	

3. 貸借対照表

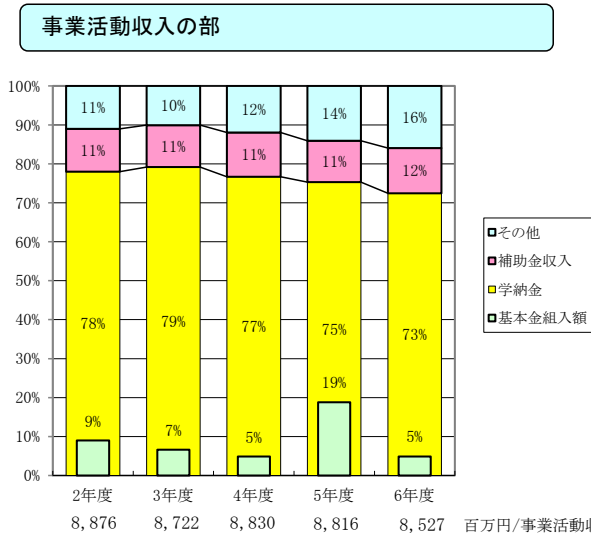
貸借対照表は、年度末における資産・負債・基本金および繰越収支差額の状態を表示し年度末時点での財政状態がわかります。

固定資産は期中に大型設備投資が無かったことから△775百万円減少しました。流動資産は施設設備の整備を自己資金で賄ったことによる現預金の減少を主因として△403百万円減少しました。なお、正味財産(基本金+繰越収支差額)は、27,599百万円、自己資金構成比率は88%となりました。

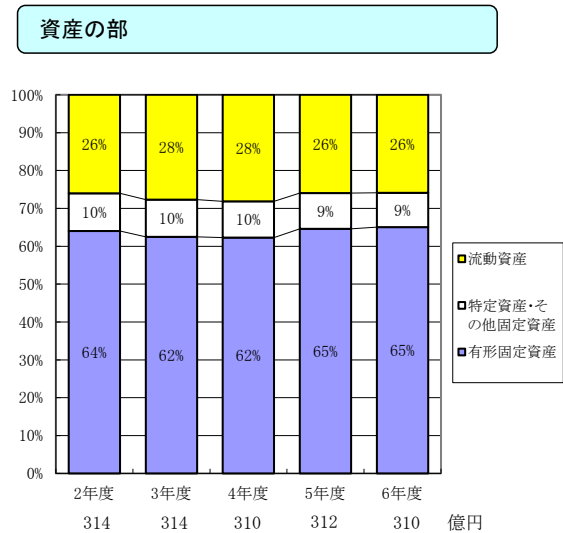
(資産の部)		(単位:百万円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定資産	22,375	23,150	△ 775	
有形固定資産	19,636	20,211	△ 575	
特定資産	1,340	1,827	△ 487	
その他の固定資産	1,399	1,112	287	
流動資産	7,677	8,080	△ 403	
合 計	30,052	31,230	△ 1,178	
(負債の部)		(単位:百万円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
固定負債	1,562	1,629	△ 67	
流動負債	1,676	2,002	△ 326	
合 計	3,239	3,631	△ 392	
(純資産の部)		(単位:百万円)		
科 目	本年度末	前年度末	増 減	
純基本金	43,812	43,394	418	
繰越収支差額	△ 16,998	△ 15,795	△ 1,203	
純資産合計	26,813	27,599	△ 786	
負債及び純資産の部合計	30,052	31,230	△ 1,178	

5カ年 収支状況及び財務状況推移表

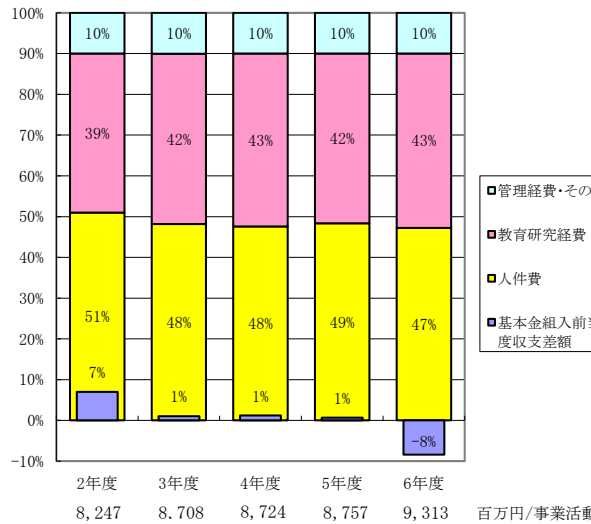
事業活動収支計算書(収支状況)構成比率



貸借対照表(財務状況)構成比率



事業活動支出の部



負債の部・純資産の部

